



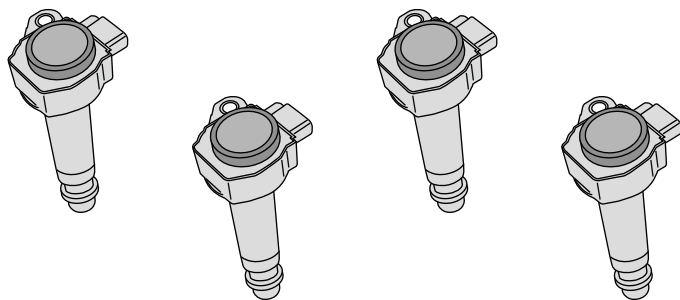
この度は、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この「取付説明書」をよくお読みの上、正しく安全に作業を実施してください。また、取り付け上の理由、要因により発生した事故やトラブル、製品不具合等については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。尚、本説明書は、製品を取り付けたあとも大切に保管してください。

注意事項 **注意** 必ずお守りください！

1. 指定車種以外への取り付けは絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
2. 本製品の分解や加工等は絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
3. 水平な場所で輪止め等を使用して車両を確実に固定したうえで作業を行ってください。車両が動き出し事故を起こす原因となります。
4. エンジンを停止し、エンジンキーを抜いてから作業を行ってください。
5. エンジンが十分に冷えていることを確認してから作業を行ってください。事故や火傷を起こす原因となります。
6. 安全のため、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。尚、バッテリーのマイナス端子を取り外すと盗難防止の安全装置等が作動する車両がありますので、車両マニュアルや車両整備書に従って作業してください。
7. エンジンを始動する場合は、換気の良い場所で行ってください。排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
8. 本製品の取り付けは、整備資格を有する工場やプロショップ、又は整備資格を持った方をお願いしてください。
9. 点火時期やブースト、燃調等を変更している車両は、本製品装着後に再調整を行なってください。エンジンを破損する原因となります。
10. 本製品はエンジンの不調を補修するものではありません。取り付け前にエンジン作動が正常であることを確認し、不具合がある場合は修理してから本製品の取り付けを行ってください。
11. 本製品に異常があった場合は、本製品の使用を止め、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

構成部品

プラズマダイレクト : 4



コイル固定プレート : 1



ボルト
 ・ M6×20mm : 4
 ・ M6×15mm : 1



ワッシャー : 6



スプリングワッシャー : 4



ナット (3種) : 4



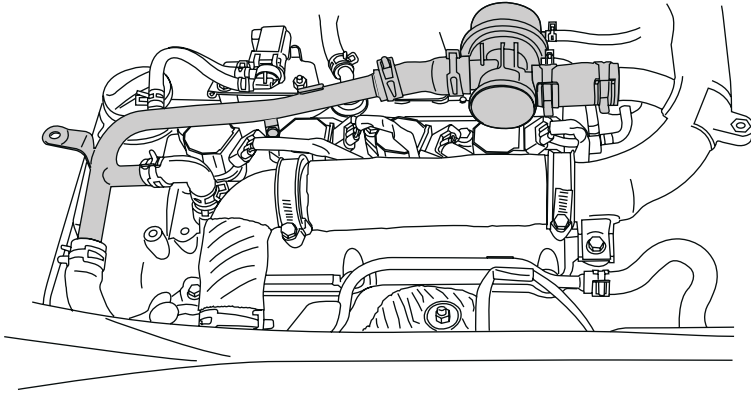
ナット (フランジ付) : 4



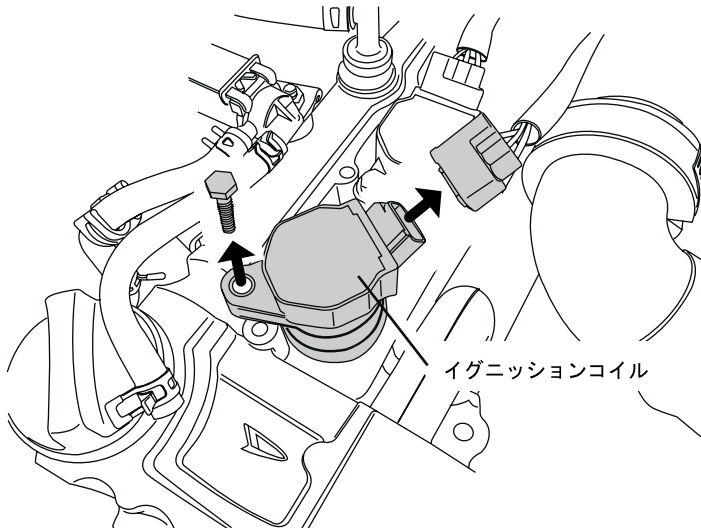
コイルスプリング : 4

取り付け手順

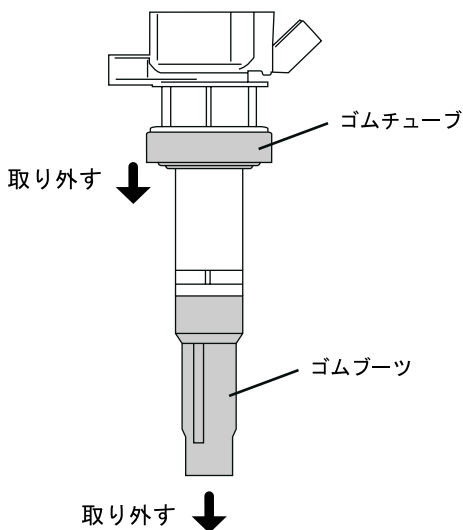
- 1 エンジンカバーを取り外してください。
- 2 イグニッションコイルを取り外せるよう、パイプ類(下図グレー部)を取り外してください。



- 3 イグニッションコイルのカプラー及びボルトを取り外し、イグニッションコイルをエンジンより取り外してください。



- 4 純正イグニッションコイルからゴムブーツ及びゴムチューブを取り外してください。
ゴムブーツ内にはスプリングが入っていますので、取り外し時に無くさないようご注意ください。



⚠️ スプリングの種類をご確認ください

純正イグニッションコイルに使用されているスプリングは2種類あり、タイプ1(ストレート)のスプリングはプラズマダイレクトに使用できません。

その場合は付属のコイルスプリングを使用してください。車両によってはタイプ1とタイプ2が混在してる場合がありますが、タイプ1のみを交換してください。

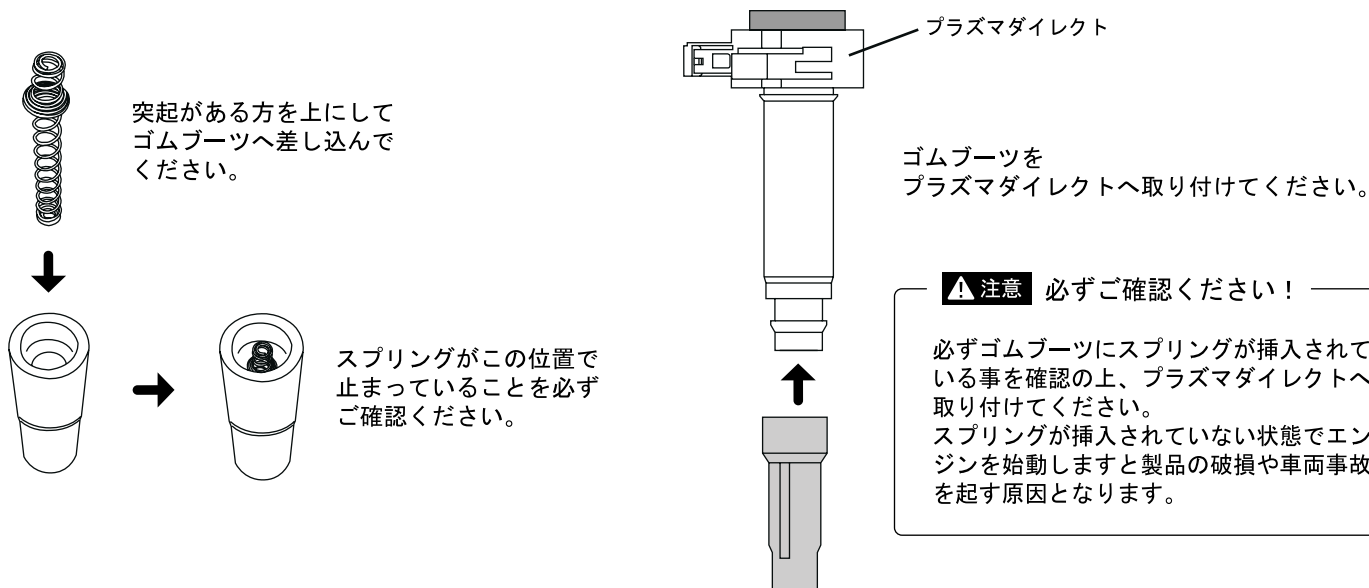


タイプ1
(ストレートタイプ)

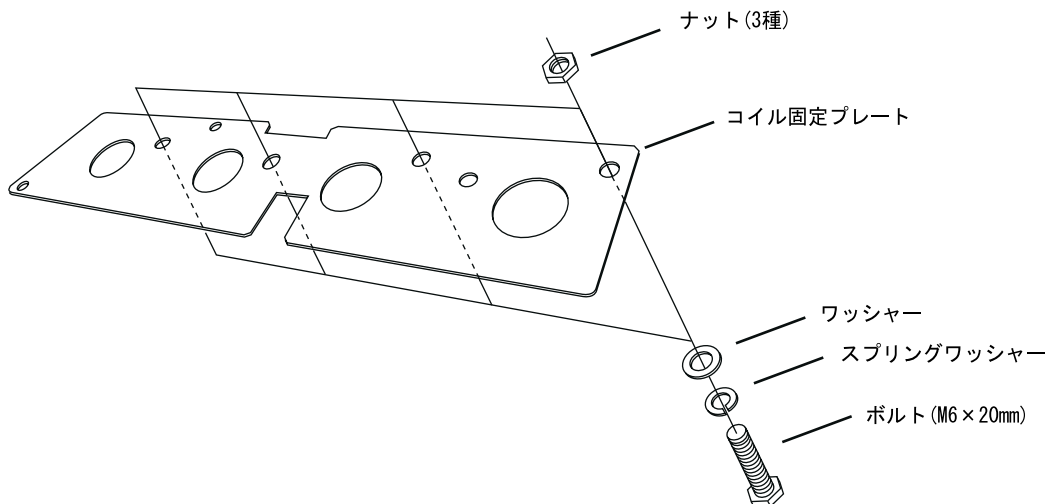


タイプ2
(突起があるタイプ)

5 4項で取り外したゴムブーツにスプリングを差し込み、プラズマダイレクトへ取り付けてください。



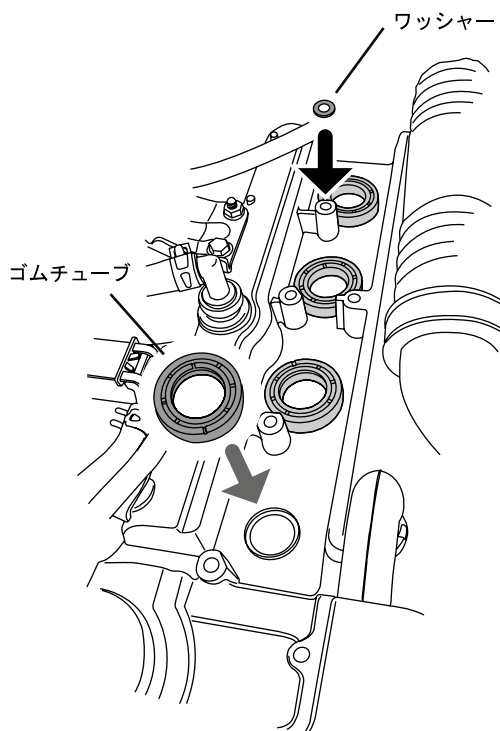
6 付属のコイル固定プレートへ付属のボルト、ナットなどを取り付けてください。



7 4項にて取り外したゴムチューブを右図の様にエンジンへ装着
(置く)してください。
エンジンにはゴムチューブが納まる溝がありますので、溝に合わ
せて装着(置く)してください。
また、黒矢印の箇所へ付属のワッシャー(1枚)を置いてください。
このワッシャーはコイル固定プレートの高さ調整用スペーサー
となります。

⚠ ゴムチューブやワッシャーがずれる場合

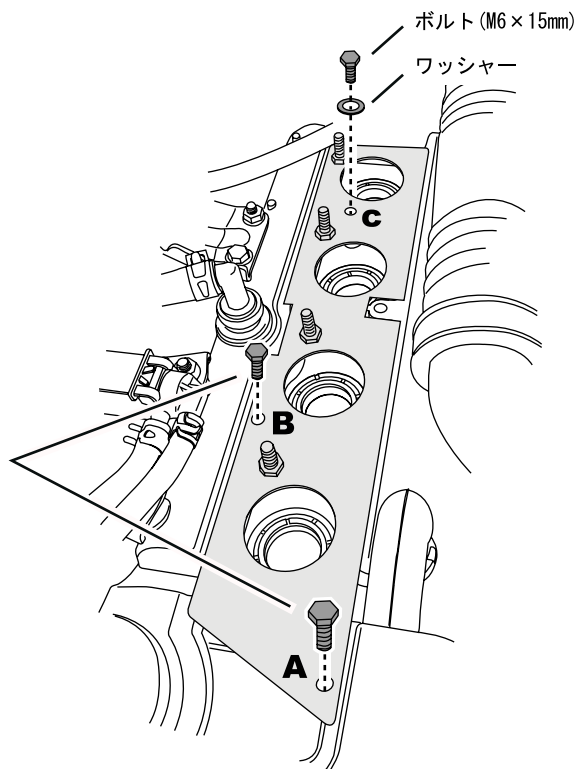
作業上、ゴムチューブやワッシャーがずれる場合は市販の
シリコンシール剤等を用いてエンジンに固定してください。



- ⑧ コイル固定プレートをエンジンへ仮止めします。
右図のA・B箇所へは2項のパイプを止めていた純正ボルトを使用し、C箇所には付属のボルト (M6×15mm) およびワッシャーを使用してください。

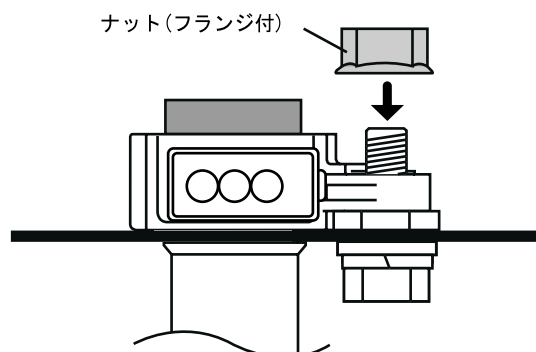
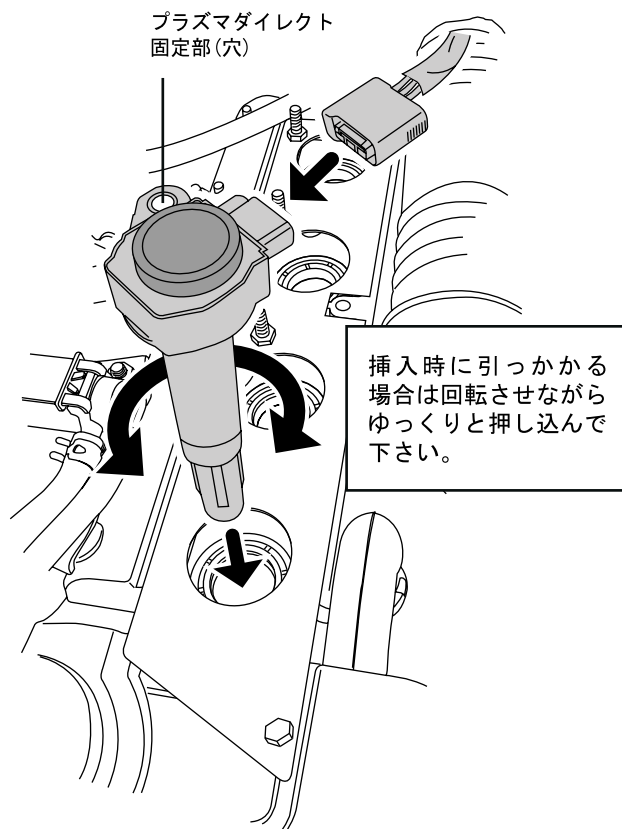
この時、本締めしてしまいますとプラズマダイレクト挿入時に入れにくい状態となってしまうので、手で回す程度にしてください。

パイプを止めていた純正ボルト



- ⑨ プラズマダイレクトをエンジンへ装着します。
プラズマダイレクトは、純正イグニッションコイルより若干外径が大きいため挿入時に引っかかる場合があります。その際はプラズマダイレクトを回転させながらゆっくりと押し込んでいきます。

- (1) プラズマダイレクトを半分くらいまで差し込んだ時点で、コイルコネクターを取り付けて下さい。
- (2) コイル固定プレートに取り付けたボルトがプラズマダイレクトの固定部(穴)に収まるよう角度を調整しながら最後まで押し込んで下さい。
- (3) 付属のナット(フランジ付)を使用してプラズマダイレクトを固定してください。



- 10 8項で仮止めしたC箇所ボルトを本締めしてください。
A・B箇所の純正ボルトはコイル固定プレートから取り外します。
- 11 2項で取り外したパイプ類を元に戻します。
- 12 純正ボルトでA・B箇所を本締めしてください。
- 13 エンジンが正常に始動するか確認してください。
エンジンが正常に始動しない場合は、パイプ類の抜けがないかご確認ください。
- 14 エンジンカバーを元に戻してください。

作業時に取り外した純正イグニッションコイルや
コイル固定ボルトなどは大切に保管してください。